



学ぶ力を高めるために

一日一日を大切に作る仕組み

今回は先日の育友会総会でお話した「学力向上策」を、改めてご説明します。本年度、生徒たちが日々「今日、自分は頑張った!」と言える充実感のある毎日 を刻めるよう、左図のサイクルを確実に回していきたいと考えています。

説明は、下の段に↓

キャリア・マネジメントシート

(将来の夢や目標)

キャリア・ポートフォリオ

(取組の記録)

フォーサイト

(スケジュール管理+ふりかえり)

授業・行事・生徒会活動等
学びノート・モノグサ(AI学習)

(実践・積み重ね)



〈キャリア・マネジメントシート〉

・A3版の大きな用紙に自分の将来の夢や希望、その実現のために必要なこと、自分の「強み」などを書き込むものです。通知表を出すときにいっしょにはさんでお渡しします。

〈フォーサイト(青い色のスケジュール帳)〉

・見開き1ページが1週間のスケジュール帳です。時間割のほか、家庭学習の時間や内容、起床や就寝時刻などを書き込み、自分を振り返りながら改善していこうとするものです。

〈学びノート〉

・昨年度まで提出させていた「自学ノート」を発展的に進化させ、今日の授業で「何を学んだか」を整理するノートです。“やつつけ仕事の家庭学習”からの脱却を目指しています。

〈モノグサ(AI学習アプリ)〉

・タブレットPCを活用して、漢字や英単語、重要語句など、「覚えておかなきゃいけないもの」を記憶するために行うものです。生徒の学習状況に対応できる優れものです。

〈キャリア・ポートフォリオ〉

・大げさに言えば、人生を左右するかもしれないものを入れるファイルです。オープンスクールで資料、心に響いた言葉のメモなど、何でもとりあえず入れておくものです。

私たちは、左に示した手立てを通じて生徒が、自分の可能性を信じて「努力を重ねたら必ず自分は良くなっていく」という信念(マインドセット)と良い習慣を身につけてくれることを願っています。

《 主な行事予定 》

〈5月〉

- 3日(水)～7日(日) 連休
- 10日(水) 体育大会総練習
- 14日(日) 体育大会(弁当不要)
- 15日(月) 振替休日(体育大会の代休)
- 18日(木) 実力テスト(3年生)
 - ～19日
 - 教育相談 ～31日
 - (生徒と教師の面談)
- 19日(金) 全国学力テスト(英語)
- 25日(木) 生徒総会

〈6月〉

- 11日(日) 市中総体球技・武道大会
(学校待機生徒は午前中のみ)～12日
- 13日(火) 振替休日(中総体の代休)

〈コラム 港町ブルース〉

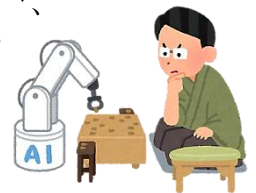
「AI時代の学力」

最近、人工知能や膨大なネット情報をフル活用した「チャットGPT」が話題ですが、「AIロボットは東大に合格できるか」という研究で有名な新井紀子氏は、子どもの学力について、次のように語っていました。

「読解力なしに学力は高まらない。読解力を高めるためには、時間がかかっても、自分の頭で腑に落ちるまで読み込ませることが大事だ。」

(「AI VS 教科書が読めない子どもたち」から)

AIに踊らされるのではなく、AIを使い倒す力をつけさせることが学校教育に求められています。そのためにも教員には広い視野と洞察力のほか、私たち自身が「学ぶ力」を高めていくことが必要だと改めて思う今日この頃です。



《心に響いた言葉》 「やったー!」自分たちで考えたソーラン節の振り付けがうまくいったときの生徒の歓声から。「自分たちで考える・工夫する」、「力を合わせる」「困難を乗り越える」、こんな経過があつての感動でした。

本年度の連載について

これまで学校たよりの裏面には「令和の日本型教育を行う『口中へ』と題して新しい時代に対応するための本校の取組などを連載してきました。そこで本年度は『長崎県教育振興基本計画』の中で挙げてある「教育を取り巻く社会の動向」に照らし、長崎県の課題を確認しながら、本校が行っていること（または行おうとしていること）を掲載していきたいと思えます。各付けて、シリーズ

「長崎県の課題と本校の取組」

連載は、次のように計画しています。です。

- 1 人口減少と少子高齢化社会の到来
- 2 グローバル化の進展
- 3 急速な技術革新
- 4 高度情報化の進展
- 5 経済・雇用環境の変化
- 6 価値観や生活様式の多様化
- 7 貧困の連鎖
- 8 人生一〇〇年時代
- 9 持続可能な開発



うーん、課題山積…

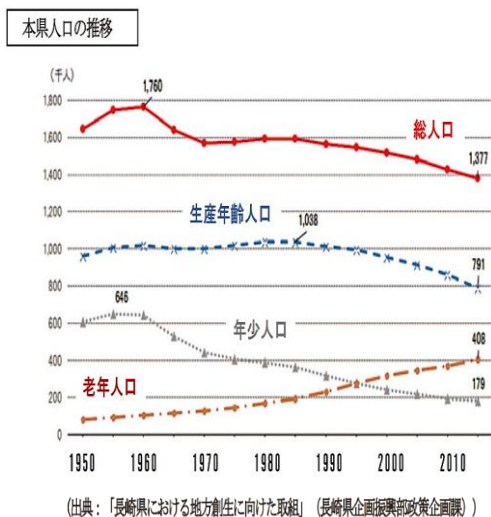
「それではお楽しみに…」と、いろいろな内容ではないのですが、みなさんといっしょに考えていけたらと思います。ぜひぜひぜひぜひお願ひします。

そこでさっそく第一回です。

シリーズ「長崎県の課題と本校の取組」

第一回「人口減少と少子高齢化社会の到来」

左のグラフは、長崎県企画振興部が作成したものです。人口が減り続けていることを示しています。問題は「これがいつまで続くか」ということですが、県の統計によると、出生数が減少し、県外流出が止まりませんので、今後数十年は減少が続くと考えられます。この影響を受けて学校では、生徒数が減って、教員になろうとする若者が減って、部活動の部員が減って…、といった「ちょっと暗くなりそう」な状況です。



でも、逆に考えれば、小回りがきいて、分けるが増えて、チャンスが巡る回数が増えて…、とも考えられるワケで、そのような**明るく前向きな発想や転換**が必要なのだと思います。何れにせよ最大の課題で、皆々といっしょに考えていきたい課題であることは確かです。

ふるさとの文化・歴史・人物——口之津中教育の視点から

「サイクリングロード」

大正八年に開業した島原鉄道は、普賢岳災害の影響を受けて、本市区間は、平成二十年四月一日をもって廃線となりました。あれから十五年、跡地は自転車・歩行者専用道路としてよみがえってきています…が、なんとその計画たるや、壮大なものがあります！

南島原市自転車活用推進計画

市民の暮らしを支えたかつての島原鉄道南線。その跡地を市民の日常生活を支える自転車歩行者専用道路として再生することによって、健康で急がない生活スタイルと、島原半島と天草、熊本、阿蘇、国東とをつなぐ「九州横断サイクルルート」(仮称)を見据え、市民や来訪者が地域の魅力をゆつくりと巡り楽しめる仕組みを創造します。(本市ホームページから)

全線が開通したら、口之津中まで自転車来てみたい！と、今からワクワクしています。でもその前に、まずは体重を減らさなきゃ。



【お知らせ】感染症対策について

五月八日をもって「新型コロナウイルス」がインフルエンザ等と同じ扱いになることからマスクも着用を求めないなど、感染症対策を通常に戻します。これから熱中症にも注意が必要です。で、マスク着用については、お子さんの状況を踏まえてご配慮ください。